

平成 24 年度「みえの現場・すごいやんかトーク」（桑名市）の概要

3月3日（日）に桑名市のはあぶ工房 Together で「みえの現場・すごいやんかトーク」を開催しました。

当日は、特定非営利活動法人はあぶ工房 Together の皆さん 10 名の方にお集まりいただき、活動内容、今後の活動、行政へ期待していることなどについて、ご意見などをお伺いしました。



冒頭ピアノ演奏で知事を出迎えていただきました



特製ハーブティとシフォンケーキ
をいただきながらトークを開催しました。

【参加者からの発言】

参加者の皆さんから、以下のようなご意見をいただきました。

- 心の病、精神に疾患のある人達と、共に楽しみ、生きる喜びを分かちあいながら社会参加との自立を目指して活動している。
- 様々な方に支えられ 100%民間のみで運営し満 16 年になり、カフェをオープンして 8 年になる。カフェでは、桑名市内の自家農園で無農薬・有機肥料で栽培したハーブを使用したオンリーワンのハーブティやシフォンケーキ等を販売している。
- 自分たちで栽培した生のハーブを乾燥させ作ったハーブティは、自慢である。また、生のハーブを使用して造るシフォンケーキは、ケーキに水分があって、やわらかく、中身も工夫していてすごく美味しいのが自慢だ。毎日工夫して作っているスタッフの成果だ。
- 「はあぶ工房」のワークルームで週 2 回働けることが楽しい。かわいい食器を洗うことが一番楽しい。
- 「はあぶ工房」で絵の展示会をしてみると、新しい人との出会いなどがあり、とてもいい機会になっている。
- 自分の得意なピアノ演奏で、「はあぶ工房」の手助けができることは、自分にとって幸せなこと。最初は、演奏するだけで満足だったが、何回か演奏するうちに色々な

方と知り合えたり、「とても良かった」と誉められることで楽しく演奏している。

- ハーブ栽培で体を動かすことが非常にいい。沢山栽培しているハーブの色々な匂いは、精神的、肉体的にも体にいいと思う。一方で、農園でのボランティアは、夏は暑いし、冬は寒いし、大変だが、スタッフの皆なから「ありがとう」と言われると、嬉しくてやりがいを感じる。
- 「はあぶ工房」は、福祉面で活動しているが、多方面の方に支えてもらっている。ハーブの栽培、絵の展示など、はあぶ工房を通じて、地域で人と人がつながっていることは、自慢だ。また、オンリーワンのハーブを栽培出来ていることも自慢である。

Q 今後、活動していくうえでの課題や、その課題を解決するために行政や企業などに望むことは？

- 絵の展示会をしているなどイベントを開催している時は、お客さんが多いが、何もイベントが無い時はお客さんが少ないのが悩みである。「はあぶ工房」の場所も名前も知っていたが、入りずらかった。障害に対する理解がないとお客さんとして利用してもらえない。
- 精神疾患は、20歳前後で発病することが多く、仕事に就けず、生活が大変な方が多いので行政に是非支援して欲しい。
- 奈良の「青葉仁会」を視察したが、規模など1民間での実施にはハードルが高く限界があるので、PRなどについて市や県で補助していただきたい。
- 学校では、特別支援クラスに先生や介助の方がいるので、他の生徒が車椅子を押す機会もないなど生徒と障がいのある生徒が学校で触れ合っていない。障がい者芸術文化祭などで障がいのある方と無い方が、触れ合える機会は必要だ。
- 8年間この「はあぶ工房」の喫茶ルームを運営してきたが、思いは強いが「経営」という部分での知識が乏しい。ハーブというオンリーワンのものをもっと知っていただき、障がいのある方の働く場を持続していくために、NPO法人としての運営を軌道に乗せていかなければならないので知恵を貸して欲しい。

【知事の発言】

皆さんからのご意見を受け、知事からは次のような発言がありました。

- ハーブティは、香りと口当たりがすごい。癒される味だ。シフォンケーキについても小さいところに妥協せず、努力されていることはすごいことだ。
- 人と人をつなぐ扇の要が、「はあぶ工房」。オンリーワンを目指していながら、ハーブティやシフォンケーキなどナンバーワンの結果としてなっているのは、すごいことだ。
- ハローワークを通じて募集される軽度な身体障がいの方の雇用については、法定雇用率もあり、知的、精神的に障がいのある方に比べると採用が多い。知的、精神的に障がいのある方は、なかなか働く場がないのが実情であり、障がいの種別での課題と認識している。
- 障がいの有無に関わらず共に時間を過ごすことは重要であり、知っていただく機会

を増やすことは必要。障がい者芸術文化祭を開催したり、また、手話劇の技術向上とともに、理解を深める意味で聴覚障がいのある方の手話劇コンクールも実施している。

- 現在は、起業に対するアドバイスはあるが、運営している組織を軌道に乗せていくための経営的な支援、具体的な経営面でのアドバイスを一度考えてみたい。



【特定非営利活動法人はあぶ工房 Together とは】

はあぶ工房 Together は、ハーブ栽培を通して、主に心の病・精神に疾患がある人達と、共に楽しみ生きる喜びを分かち合いながら、社会参加と自立を目指し、公的資金を受けずに草の根で活動を行っている NPO 法人です。

桑名市内で無農薬・有機肥料により栽培したハーブをハーブティやシフォンケーキとして提供しているほか、様々なハーブの製品化を行い販売しています。